

「ざわつく日本美術」展、今夏開幕

ざわつく展示相次ぐ

ある作品を見た時、「えっ?」「おっ!」「うわぁ…」などと感じたことはないでしょうか?本展では、こうした言葉にならない「心のざわめき」を、作品をよく見るための大切なきっかけと捉えています。とこの「も、いったい私はこの作品のどこにざわついたのだろう?」「と考えることで、目の前の作品にふり「層興味を覚えるからです。」

そこで今回は、思わず「心がざわつく」ような展示方法や作品を通して、「目や頭、心をほぐし、「作品を見たい!」という気持ちを高めていきます。展示テーマは「ざわつく」「ざわつく」「ざわつく」「ざわつく」「ざわつく」「ざわつく」「ざわつく」「ざわつく」「ざわつく」「ざわつく」

「見る」という行為を意識して愉しみながら、日本美術のエッセンスを気軽に味わっていただける展覧会です。

作品との出会いによって沸き起る、自分自身の「心のざわめき」に耳を傾けると、日本美術の魅力にぐっと近づけるような、意外な発見があるかもしれません。

裏面情報が、それぞれ違う? ざわつくチラシ展開

「もっとお知らせしたい!」という思いを込めて、チラシを4種類展開。ウェブサイトで全種類を公開中!

- 全貌版**
6つの展示テーマを凝縮
- じろ×うら版**
目を凝らすと...裏も気になる!
- ちょき×はこ版**
作品を「切断」?箱だらけ!
- ざわ×ばら版**
これも美術?!蓋はどこ?

ちょき×はこ版

いま目の前にある姿が、作品の制作当初の姿とは限らない? 「切断」された可能性が高い作品を、再現展示を一部取り入れてご紹介。

苦渋の「切断」? 栓付瓶をリメイク

現在は「筆筒」として伝わる薩摩切子には、「切断」によって姿が変化した可能性があります。試みに「筆筒」とほとんど同じ寸法の「栓付瓶」を重ねてみると、「筆筒」誕生の背景が明らかに?



左:薩摩切子 紅色被栓付瓶 一合/右:薩摩切子 紅色被筆筒 一口 共に江戸時代 19世紀

たくさん作品を保管する収蔵庫の扉を開けると、棚に並んでいるのは箱、箱、箱...。ふだんは表舞台に出ることの少ない箱を、作品と共に特別公開。

数が多い! 作品はどの箱の中に?

ひとつの作品を収納する箱は、ひとつとは限りません。箱に箱を重ねて「重箱にするなどして、作品を厳重に守っています。また、作品の所蔵者が変わって新しい箱が作られる場合でも、古い箱は捨てられることなく、大切に保管されつづけます。

「黒染四方茶碗 銘山里の箱式



美しすぎる? 豪華な箱セットの理由

箱は時として、実用的な目的以上に豪華になることがあります。美しい箱には、作品への愛情や敬意が込められているのです。

「生 銘小男鹿丸の箱式

事前申込優先

◎エドゥケーターによる鑑賞ガイド
【短時間で展覧会の見どころを紹介(スライド使用)】
会期中、隔週土曜日(7月24日、8月7・21日) 各日11時~、15時~(各回約20分)
参加無料(別途要入館料)*当館ウェブサイトよりお申込みください。先着順。空席がある場合に限り、当日参加も可能です。

事前申込制

◎トーク「わいわいする!ざわつく日本美術展のできるまで」
【今までにない(当館)コレクション展である本展の企画から展示まで、担当者による裏話】
7月25日(日)、8月15日(日) 各日11時~、14時~(各回約40分) 参加無料(別途要入館料)
*当館ウェブサイトよりお申込みください。先着順。空席がある場合に限り、当日参加も可能です。

◎ざわざわしてる?心のざわつきを聴く「静寂鑑賞会」
【会話、撮影禁止の静かな空間で作品に向き合ってみませんか。人数限定貸し切り鑑賞会】
8月18日(水)19時~21時 定員:50名 応募締切:7月25日(日)
参加無料(別途要入館料)
*当館ウェブサイトよりお申込みください。応募多数の場合は抽選、結果は当選者のみにお知らせします。
*展示室内での会話および撮影はご遠慮いただきます。
*いずれも変更・中止の場合があります。詳細および最新情報はウェブサイトをご覧ください。

◎ウェブサイトでは、展覧会に関連した動画を公開予定です。
◎夏休み特別イベント「まるごといちにち こどもびじゅつかん!」開催。
オンラインを中心に実施予定。詳細は6月下旬頃にお知らせします。

「#ざわ美」



〒107-8643 東京都港区赤坂9-7-4
六本木・東京ミッドタウン ガレリア3階
TEL 03-3479-8600
suntory.jp/SMA/

ラーニングプログラム

入館料	一般	大学・高校生
中学生以下無料 *()内は前売料金	1,500円 (1,300)	1,000円 (800)

呈茶席

お抹茶と季節のお菓子

7月15日(木)・29日(木)、8月12日(木)・26日(木)
12時、13時、14時、15時にお前を実施
(お点前の時間以外は入室不可、及びお抹茶とお菓子は召し上げられません。)
会場:6階茶室「玄鳥庵」定員:各回12名/1日48名
呈茶券:1,000円(別途要入館料)
*呈茶券は当日10時より3階受付にて販売(予約不可、先着順で販売終了、お一人様2枚まで)
*変更・中止の場合があります。詳細および最新情報はウェブサイトをご覧ください。

<サントリー美術館メンバーズクラブ>
年間フリーパス(同伴者1名も無料)ほか、限定イベントご招待など特典多数/年会費:6,000円 *お連れ様と一緒に年に2回以上ご来館されると、メンバーズクラブへのご入会が断然お得!詳しくはこちら→

[チケット販売場所]
サントリー美術館受付、サントリー美術館公式オンラインチケット、ローソンチケット[Lコード:32131]、セブンチケット[セブンコード:088-093] *前売券は4/14~7/13販売(サントリー美術館受付での販売は4/14~6/27の開館日に限る。)
オンラインチケット

[交通のご案内] 都営地下鉄大江戸線六本木駅出口8より直結 / 東京メトロ日比谷線六本木駅より地下通路にて直結 / 東京メトロ千代田線乃木坂駅出口3より徒歩約3分